

2007年12月17日(月) 必勝の開幕

東邦大学医学部 テクノ・シリーズ

36指導時間+東邦テクノ12時間

東邦大学医学部入試の特徴

薬学部を併設する東邦大学は、医学部ではめずらしく、都内にある旧設大学の中でも比較的合格しやすい医学部であると言える。

主にマークシート形式である問題は、全科目にわたり難易度的には容易ではあるが、問題数がかかり多いので、時間内に全問題を解ききることができるかがキーポイントになる。

さらに東邦大学で特徴的なことと言えば、教科による配点の違いがある。英語150点、数学100点、物理、化学、生物、各75点という点数配分は、明らかに英語と数学の能力がある者を求めているものであり、その結果、現役生が受かりやすくなっている。逆に浪人生で合格を勝ち取りたいならば理科を強化し、4科目万全の態勢でのぞみたい。

東邦医学部テクノ・シリーズの概要

医学部予備校ウインドムでは過去の合格者のデータから合格ボーダーを75%以上と認識している。つまり高得点争いは必至であり、学力があってもケアレスミスひとつで合否を逃してしまう可能性は否定できない。しかし裏を返せば、迅速な計算力と教科書程度の知識力が確立していれば、難しいことを知らなくても突破は十分に可能である。

それでも確実に一次突破を狙うのであれば、理科出題ルールや医系英語、それに数学大小問など大学傾向に特化した攻略を十分にこなさなければならない。東邦テクノ・シリーズでは年内の「速習ステージ36時間」で必須事項を集中的に叩き込み、年明けの「テクノ・ステージ」でテスト演習やドリル形式の問題演習を通して解答力や実戦テクニックを体得し、東邦一次突破実現のために必勝の態勢を整えていく。

速習ステージの36指導時間で
知識や傾向を獲得(年内)

テクノ・ステージの12時間で
解答力・実戦力を育成(年明)

東邦大学入試動向

1/26日の受験日は昭和・東邦・川崎医科が並列して実施される。一見、上位層は昭和大学へ流れていきそうな雰囲気もあるが、逆に上位層がより確実な東邦を抑えに受験する可能性も否定できない。さらに「医学部へ行き、とにかく医師になる」という観点から考えればチャレンジまたは五分五分の力で勝負をするよりも川崎医科を確実に抑えることも考えねばなるまい。よって東邦は、出願の段階で振るいにかけられていると考えるのが妥当であろう。東邦の入試問題には独自のルールがあるものの高得点争いは必至であるため、激戦が予想される。



Windom
医学部予備校ウインドム

東邦医学部合格へのルールを究める!

東邦英語特講

東邦の英語は大問数7題、小問数80題程度で全問マーク式。問題のレベルは標準的であるが、試験時間に対し問題量が多く、医学用語を含めた高い語彙力が要求される問題が多い。出題内容は、長文を中心に、単語、内容、空所補充中心の私立型のオーソドックスな問題であるが、長文は近年3~4題ずつ出されており、内容は医学関連のものが多い。

テクノ・シリーズでは他の医科大の問題も含め、医学系の内容の英文読解練習を重ねて、医学の基礎知識や医学用語を習得し、速読力、文法力まで幅広く丁寧に学んでいく。

[受講に際して] 語彙力に関しては、大学入試の範囲を逸脱したものが要求されることは少ないが、一般的な単語帳に載っている単語は漏れないよう暗記しておくことが必要。

東邦数学特講

ここ数年間は大問3題で①が小問10題、②が大問1~2題(式を書かせるもの)、③が記述式1題という形式が続いている。小問は全分野から出題され、大問は微積分・ベクトル・行列が頻出であり、特に微積分は他分野の問題と絡められて出題されることも多い。小問・大問ともに基本~標準レベルの問題が大部分である。

テクノ・シリーズでは基本~標準レベルの問題を取りこぼさないように正確に解答することに主眼を置き、前半は小問の演習を通して「本試験10問中9問の解答」を目指し、後半は東邦特有の大問(図形問題など)を制圧していく。

出講講師 当校主宰である三輪代表をはじめ、「合格請負人」と称されるアドバンススーパーコースの講師で構成されています。
受講者特典 一次合格時には無料で二次試験対策を実施します。小論文に関してはご相談ください。

東邦化学特講

2002年から大問3題、①がマーク式の小問集合、②、③が記述式という形式が続いている。①の小問は30題と多く、理論・無機・有機の全分野から幅広く、基本的なものから細かな点まで、多種多様な形で出題されており、時間を要する計算問題も含まれている。記述式の問題は酸塩基・平衡や有機化学の構造決定、芳香族の誘導体、アミノ酸の構造の問題などのテーマに沿った形で1、2題出される。

東邦化学は問題自体のレベルは標準的だが、量が多いため、解答スピードを鍛えつつ、正確な認識力をつけることが必要となるため、その辺を考慮しながら講義を進めていく。小問では教科書にない事柄を問われることもあるので、広く細かい知識をつけることも必要となる。また標準的な知識問題や計算問題を速く正確に解く訓練も実施する予定である。

東邦生物特講

毎年大問9~10題、設問数40~50の出題が続いている。全分野からまんべんなく、脈絡のない問題が続く。また明らかに大学レベルの知識を要求する問題もあれば、一目で解答のわかる問題まであり、問題間の難易度の差が大きい。全体としては試験時間に対して問題の量は多く、時間的に厳しい。

大量の問題が分野も難易度もばらばらに出題されるため、早く正確に、そしてできる問題を見分けていくことが要求される。まず過去問を解き、形式に慣れ、次に基本~標準的な問題を繰り返してトレーニングしていく。

東邦物理特講

大問の数は一定していないが、小問数は毎年30題となっている。全分野からまんべんなく出題され、試験時間に対して問題量が多い。問題のレベルとしては基本~標準である。

時間をかければみんなができる問題であるため、まず基本を固めた後に、基本~標準的な問題の演習を繰り返して行い、スピードと正確性をつける訓練を実施する。





申込要領

1. 下記申込書に必要事項を記入して、提出してください(郵送・Faxでも結構です)。定員になり次第締め切ります。
2. 申込書提出後学費請求書を郵送いたします。
3. 受講料金 ¥315,000円(税込)
32指導時間+テクノ・シローズ12時間=計48時間
4. 受講料金を下記の口座にお振込ください。

三井住友銀行 渋谷駅前支店
普通預金口座 口座番号:2740761 口座名:(カ)ウインダム

5. テキストは随時発送いたします。
6. お振込みいただきました受講料金は理由の如何に問わず、返金できませんので、ご了承ください。

東邦医学部テクノ・シリーズ スケジュール

日	曜	9:30~12:40	13:30~16:40
12月17日	月		
12月18日	火	1st stage 東邦化学特講	1st stage 東邦数学特講
12月19日	水		
12月20日	木		
12月21日	金	2nd stage 東邦化学特講	2nd stage 東邦英語特講
12月22日	土		
12月23日	日	実施なし	
12月24日	月		
12月25日	火	3rd stage 東邦英語特講	3rd stage 東邦生物特講 東邦物理特講
12月26日	水		
12月27日	木		
12月28日	金	4th stage 東邦数学特講	4th stage 東邦生物特講 東邦物理特講
12月29日	土		
12月30日	日	実施なし	
12月31日	月	実施なし	
1月1日	火	実施なし	
1月2日	水	数学テクノ	数学テクノ
1月3日	木	物理/生物テクノ	物理/生物テクノ
1月4日	金	実施なし	
1月5日	土	英語テクノ	英語テクノ
1月6日	日	実施なし	
1月7日	月	化学テクノ	化学テクノ

東邦医学部テクノ・シリーズ 受講申込書

氏名				男・女
住所	〒			
在籍・ 出身高校			卒業年度 (卒業生のみ)	
連絡先 Tel			選択科目いずれかに○ 化学・生物・物理	

○受講生は12月9日(日)に実施されるウインダム医進模試を受験ください。

郵送・FAX・TEL等でお申込ください。

TEL 03-5469-8578
FAX 03-5469-8587

